

# 令和 5 年度 杉循環器科内科病院 病院情報の公表

## 医療の質指標

1. [リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率](#)
2. [血液培養 2 セット実施率](#)
3. [広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率](#)

リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率 [ファイルをダウンロード](#)

ド

肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが

「中」以上の手術を施行した

退院患者数（分母）

0

分母のうち、肺血栓塞栓症の

予防対策が実施された患者数（分子）

0

リスクレベルが「中」以上の手術を

施行した患者の肺血栓塞栓症の

予防対策の実施率

0

## 血液培養2セット実施率 [ファイルをダウンロード](#)

血液培養オーダー日数（分母）	血液培養オーダーが1日に 2件以上ある日数（分子）	血液培養2セット実施率
136	78	57.35%

敗血症などの重篤な感染症を診断するうえで血液培養は不可欠な検査です。当院の血液培養2セット実施率は、57%となっております。

広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率 [ファイルをダウンロード](#)

広域スペクトルの抗菌薬が 処方された退院患者数（分 母）	分母のうち、入院日以降抗菌薬処方 日 までの間に細菌培養同定検査が 実施された患者数（分子）	広域スペクトル抗菌薬使用時 の 細菌培養実施率
80	47	58.75%

近年、新たな抗菌薬耐性菌が出現し、難治性症例が増えております。

抗菌薬の適正使用には、投与前の適切な検体採取と培養検査が必要です。